

2025 年 期 第 2 回 課題研究テーマ (東京補習所)

46 班～52 班

テーマ	<p>あなたは、A 監査法人に所属しており、上場企業である BB 社の 2026 年 3 月期の財務諸表等に対して監査を行う監査チームに所属するスタッフであるとする。</p> <p>2026 年 3 月の下旬より当該監査チームに加入し、これから、あなたは「売上原価」、「販管費」の科目に対してリスク対応手続を行うことが割り当てられている。</p> <p>そして、リスク対応手続は、①分析的手続、②実証手続を行うことが例示として挙げられているが、担当科目について重要な虚偽表示がない事の心証を得るためには、あなたの判断によりそれ以外の手続を行うことも可能であるものとする。</p> <p>そして、BB 社に対する監査は、①継続監査 (2026 年 3 月期よりも前の期においても、A 監査法人が監査を行っている)、②食品の卸売業、③過年度において未修正の虚偽表示は発生していない、ものとする。</p> <p>その場合、以下の 1～3 について、論述しなさい。</p> <ol style="list-style-type: none">仮に、あなたが担当している別の監査クライアントが、①初年度監査 (2026 年 3 月期よりも前の期においては、A 監査法人以外が監査を行っている) である場合 (①以外の条件は BB 社と同様)、BB 社を監査する場合に比して、リスク対応手続を行うにあたり、留意すべき事項や、手続の内容を工夫すべきことを述べなさい。仮に、あなたが担当している別の監査クライアントが、②食品の製造業である場合 (②以外の条件は BB 社と同様)、BB 社を監査する場合に比して、リスク対応手続を行うにあたり、留意すべき事項や、手続の内容を工夫すべきことを述べなさい。仮に、あなたが担当している別の監査クライアントが、③2025 年 3 月期において、販管費について誤謬を起因とした未修正の虚偽表示が発生している場合 (③以外の条件は BB 社と同様)、BB 社を監査する場合に比して、スタッフの立場でリスク対応手続を行うにあたり、留意すべき事項や、手続の内容を工夫すべきことを述べなさい。
-----	---